

地理・歴史

- 位置
カリマンタン島東部、北・南・中・西カリマンタン各州に囲まれ、一部マレーシアと接する。
- 面積 約126,981km²（全国の約6.7%）
- 州都 サマリンダ
- 地方自治体
3市（サマリンダ市、バリクパパン市、ポンタン市）
7県（ベラウ県、クタイ・カルタヌガラ県、西クタイ県、東クタイ県、マハカム・ウル県、パセル県、北プナジャム・パセル県）
- 人口 426万人（2024年）
- 種族（2010年）
ジャワ(30.3%) ブギス(20.8%) バンジャル(12.5%) スラウェシ(6.4%) クタイ(6%) など
- 宗教（2023年）
イスラム教:87.4% プロテスタント:7.5%
カトリック:4.4% 仏教:0.39% ヒンドゥー教:0.2%
- 時間帯
日本時間 -1時間（インドネシア中部時間）

- 碑文によれば、4世紀末には、東カリマンタンのクタイにヒンドゥー王国が存在し、その後は、ヒンドゥー・ジャワ（マジャパヒト）の文化的影響を受けた。伝承によると、16世紀にミナンカバウ人によってイスラム化。1844年にオランダの保護領になった。
- バリクパパンは19世紀末に地下油田の開発が進められ、以来、石油、天然ガスの供給基地として発展し、同州の交通のハブとして機能している。
- 1956年、カリマンタン州が、東カリマンタン、南カリマンタン、西カリマンタンに3分割され、サマリンダが東カリマンタン州の州都と制定された。2013年4月、北部の1市4県の地域が北カリマンタン州として分離された。
- インドネシア政府は、ジャカルタから東カリマンタン州のヌサンタラ（バリクパパンとサマリンダの間に位置）に首都移転を計画しており、2024年8月17日の独立記念式典はヌサンタラで行われた。



行政・政治

- 東カリマンタン州
知事：ルデイ・マスウド（前国会議員）
副知事：セノ・アジ（前東カリマンタン州議会副議長）
※第1期目。任期は2025年～2030年。
- 陸軍第六軍管区司令部ムラワルマン師団（東・北・南カリマンタン所掌）が東カリマンタン州バリクパパンに所在。
- 州設立日 1956年12月7日

■ 州議会（全55議席）
（2024-2029）

政党名	議席数
ゴルカル党	15
グリンドラ	10
闘争民主党(PDIP)	9
民族党醒党(PKB)	6
国民信託党(PAN)	4
福祉正義党(PKS)	4
ナスデム党	3
民主党(PD)	2
開発連合党(PPP)	2

経済

- 州内名目GDP 8584億ルピア（2024年/州統計局）
一人当たり名目GDP 212百万ルピア（2024年/州統計局）
- 経済成長率（対前年比）

	2024	2023	2022	2021	2020	2019
全国	5.03	5.05	5.31	3.70	-2.07	5.02
東カリマンタン	6.17	6.22	4.48	2.55	-2.90	4.70

- 主要産品 石炭・石油・天然ガス
- 貿易（2024年/州統計局）
輸出 246.6億ドル（1）中国(33.9%)（2）インド(13.6%)（3）フィリピン(8.1%)
輸入 50億ドル（1）シンガポール(22.5%)（2）ナイジェリア(13.4%)（3）アンゴラ(10.2%)
- 外国投資（2024年）14億ドル
（1）シンガポール(19.4%)（2）マレーシア(18.8%)（3）中国(13.4%)

教育・文化

- 東カリマンタン州内の日本語学習者数3,548名。州内28校の高校で日本語学習授業が実施されている。(2021年国際交流基金調査)
- 2024年11月、バリクパパン市内の高校において、在スラバヤ総領事館と現地高校日本語教師会の共催で、東カリマンタン日本文化祭を実施。
- 元日本留学生協会(プルサダ)東・北カリマンタン支部2021年8月設立。
国立ムラワルマン大学関係者(現会長含む)が多数在籍。
- 主な観光地 ダイビング・スポット(デラワン島、マラトゥア島、カカバン島)、オランウータン保護施設(サンボジャ)等

日本との関係

- 1942年1月、日本軍がバリクパパンに侵攻。戦争末期、タラカンとバリクパパンは激戦地となり、バリクパパンからサマリダに通じる街道は「死のサマリダ街道」として、退却する日本軍の多くが飢えと病に倒れた(死者約1万人)と言われている。
- バリクパパンとサマリダ周辺の主な慰霊碑は以下のとおり。また、バリクパパン市に、大戦中に日本海軍が使用した大砲が展示されている(Museum Mariam Jepang)。



南方方面戦没者慰霊碑

経済協力

■ 無償資金協力

- 1979,1986 熱帯降雨林造林研究センター(ムラワルマン大学)
- 1988 東カリマンタン造林機材整備計画
- 2000 森林火災対策機材整備計画
- 2007 遠隔地ラジオ放送網拡張計画
- 2020 パセル県における保健所救急救命病棟建設計画



■ 技術協力

- 1983,1990,1994 熱帯降雨林研究計画
- 1990 高等教育開発計画
- 2003 郷土樹種造林技術普及計画

■ その他

- 2013～2016 バリクパパン市における泥炭・森林火災の消火技術普及モデル事業(北九州市)
- 2017～ 中学教科「環境」の確立と環境教育の普及支援プロジェクト(於:バリクパパン)

■ 有償資金協力

- 1970, 1972 バリクパパン～サマリダ道路
- 1973 液化天然ガス開発
- 1978,1984 僻地ディーゼル発電
- 1979 地方ディーゼル発電所及び配電網
- 1979,1987, 1996 地方道路整備事業
- 1985,1991 バリクパパン空港拡張
- 1988,1989,1993 道路網改修
- 1990 地方及び都市道路改良事業
- 1995 ムラワルマン大学整備拡充事業
- 2000 水資源開発